

第2回高知県における特別支援学校の 再編振興に関する検討委員会（第二次）

～高知県の病弱特別支援学校（高知江の口養護学校）の今後の在り方～



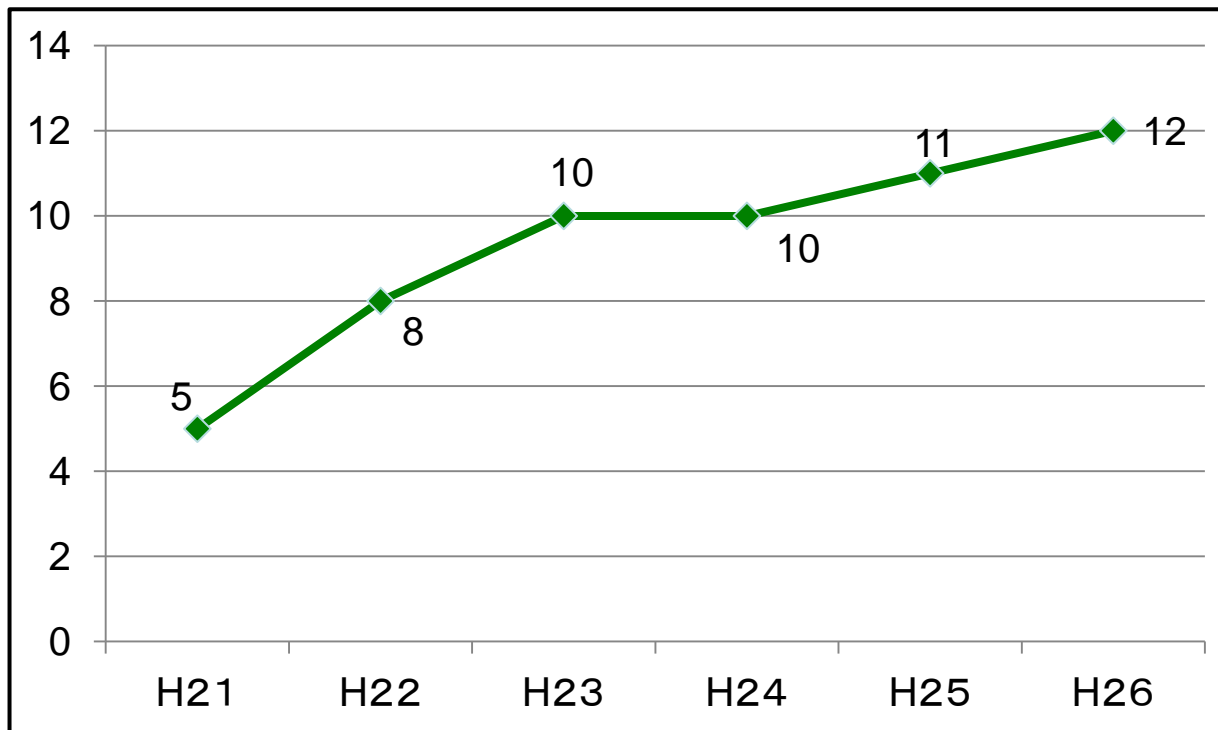
高知県

**第1回高知県における特別支援学校の再編振興に
関する検討委員会（第二次）において出された
質問等に対する情報提供**

体験学習件数の推移(高知大学医学部附属病院分校)

【体験学習とは】

- ◆病院に入院した児童生徒の中で、転校せずに授業を希望するものに対して、サービスの提供すること。
- ◆児童生徒の病状により、ベッドサイドの対応と教室対応がある。
- ◆病状がよければ1日2時間、週4～5日の対応が多い。入院期間は1～2週間。



高知江の口養護学校卒業生の進路状況

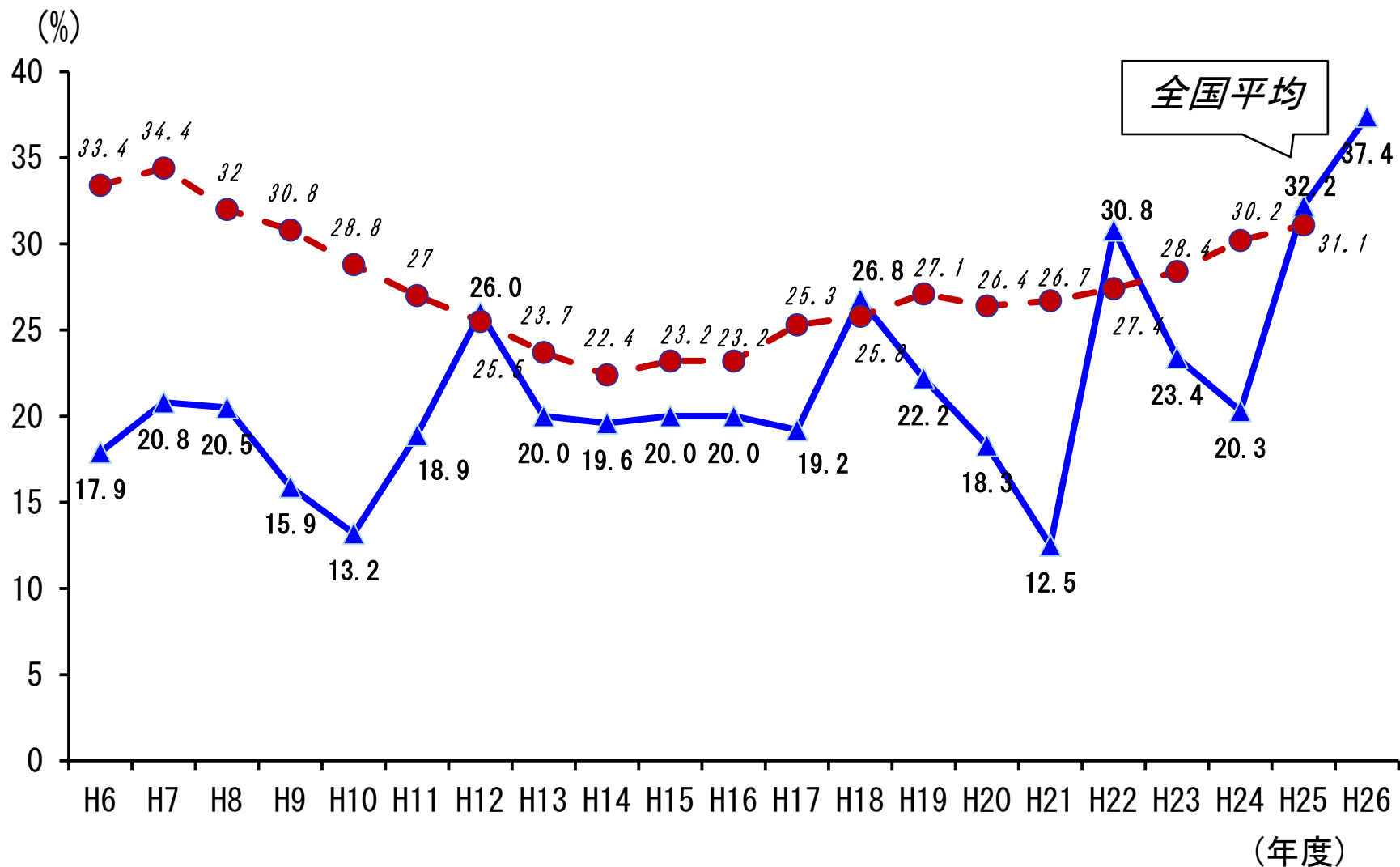
	進学	一般就労	福祉的就労 (A型)	福祉的就労 (B型・作業所等)	児童福祉施設	家庭	その他
H21	0	0	0	1	0	2	0
H22	7	0	0	0	0	0	2
H23	4	0	1	1	0	0	1
H24	4	0	1	0	0	0	1
H25	5	0	0	0	0	0	0
H26	1	0	0	0	0	1	0

山田養護学校卒業生の進路状況

	進学	一般就労	福祉的就労 (A型)	福祉的就労 (B型・作業所等)	児童福祉施設	家庭	その他
H21	0	1	2	19	1	0	0
H22	0	5	2	14	1	0	1
H23	0	2	6	25	1	0	0
H24	0	1	5	14	1	0	1
H25	0	5	3	15	9	0	0
H26	0	11	2	11	3	0	1

県立知的障害特別支援学校の年度別就職率の推移

(平成6年度卒業生～平成26年度卒業生)



発達障害の診断のある子どもの在籍人数【県立特別支援学校】

(H26. 9. 1付け)

	単独診断			重複診断			合計	自閉症 (知的特別支援のみ回答)
	LD	ADHD	高機能自閉症等	ADHD +高機能	LD+ADHD	LD・ADHD・ 高機能		
高知江の口養護学校		1 (小) 1 (中)	1 (小) 7 (中) 2 (高)	2 (小) 1 (中) 1 (高)		1 (小) 1 (中)	18	
医学部附属病院分校							0	
山田養護学校		7 (高)					7	52
田野分校		2 (高)	1 (高)				3	2
日高養護学校	1 (高)	2 (中) 3 (高)			1 (中) 3 (高)		10	
高知みかづき分校		5 (高)					5	3
中村特別支援学校		1 (中) 2 (高)					3	19
盲学校		1 (小) 1 (高)	1 (高)				3	
高知ろう学校		1 (小) 1 (中)					2	
高知若草養護学校							0	
土佐希望の家分校							0	
国立高知病院分校							0	
子鹿園分校							0	
合計	1	28	12	4	4	2	51	

特別支援学校の機能と名称について

盲・聾・養護学校を障害種にとらわれない学校制度
(特別支援学校)にするとともに、地域の特別支援
教育のセンター的機能を有する学校とすること

(今後の特別支援教育の在り方について最終報告:文部科学省H15. 3)



学校教育法の一部改正(施行期日平成19年4月1日)

<名称(総称)>

盲・聾・養護学校



特別支援学校

それぞれの学校が対象とする障害
種別及び学校名については、各自
自治体の判断となる。

※ 複数の障害部門に対応すること、センター的機能を有することも法制化

特別支援学校の機能と名称について

他県の状況

＜対応は都道府県によって異なる＞

- ・従来の名称をそのまま使う(変更なし)
- ・県下一斉に〇〇特別支援学校
- ・県下一斉に〇〇支援学校
- ・〇〇学園、〇〇高等学園 など

＜香川県＞

県立盲学校
県立聾学校
県立香川丸亀養護学校
県立高松養護学校
県立善通寺養護学校

＜愛媛県＞

県立松山盲学校
県立松山聾学校
県立しげのぶ特別支援学校
県立みなら特別支援学校
県立みなら特別支援学校松山城北分校

＜徳島県＞

県立徳島視覚支援学校
県立徳島聴覚支援学校
県立板野支援学校
県立池田支援学校美馬分校
県立みなと高等学園

特別支援学校の機能と名称について

本県の状況

- ずっと以前から、養護学校の名称変更を望む声の一部にあったが、一致した要望にはならなかった。
- 平成19年の法改正による特別支援学校制度の移行から平成23年度まで、学校や保護者から校名変更について一致した要望はなかった。
- 平成24年度に中村養護学校の関係者から校名変更について要望が出された。

県立特別支援学校の校名変更の基本的な考え方

- 学校、保護者、地域から一致した要望のあること。
 - 校名変更の趣旨が国や県の施策の方向性と一致していること。
- (平成24年9月県議会)

特別支援学校の機能と名称について

高知県立

中村養護学校 → 中村特別支援学校（平成25年4月1日）

第一次の再編により、従来の知的障害部門に肢体不自由部門を開設し、本県初の複数の障害部門に対応する学校となり校名を変更した。

高知市立

高知市立養護学校 → 高知市立高知特別支援学校（平成27年4月1日）

高知市立養護学校検討委員会において、新たにセンター的機能を有する学校とすることと併せて校名について検討し変更を行った。

高知江の口養護学校の行事予定及び授業参観について

- ◆ 4月29日(水): 参観日
- ◆ 6月19日(金): 夏まつり
- ◆ 9月 8日(火): 参観日
- ◆ 9月18日(金): 1日体験入学
- ◆ 10月31日(土): 学園祭

【授業参観等】 (給食・昼休憩／12:15～13:30)

- ◆ 6月1日(月)
 - ◆ 6月8日(月)
 - ◆ 6月10日(水)
- } 学校要覧の日課表の授業時間の中で参観が可能です。

アンケート調査の結果（一部抜粋） （高知江の口養護学校）

【実施期間】平成26年7月

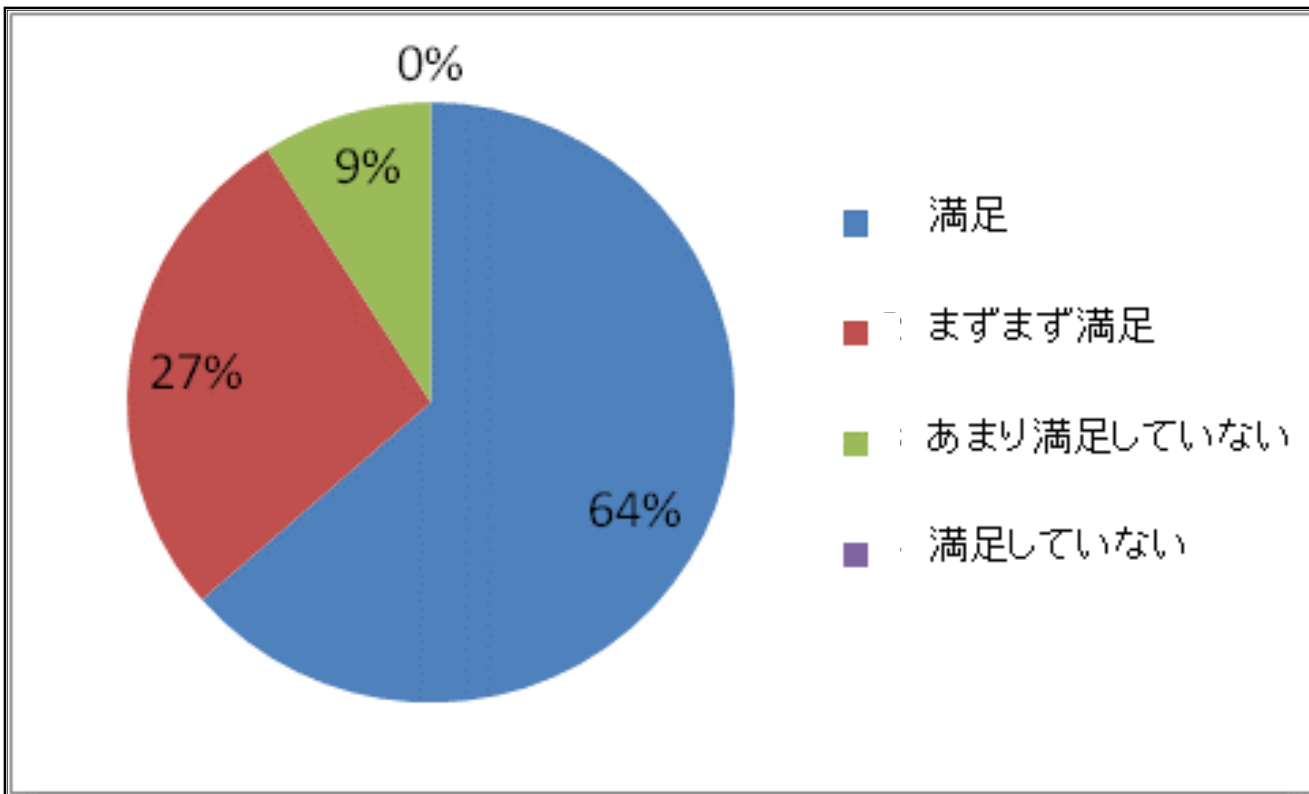
【回答者】高等部生徒

小中高等部保護者
教職員

生徒のアンケート調査より

◆あなたは、現在の学校の教育に満足していますか。

	満足	まずまず満足	あまり満足していない	満足していない
生徒	7	3	1	0



理由

【満足】

- ・不自由がない。
- ・授業が覚えやすいから。
- ・分からないところも丁寧に教えてくれる。
- ・宿題が無く、体を休ませることができるから。
- ・特にこれといって不満がないから。
- ・授業内容が分かりやすい。

【まずまず満足】

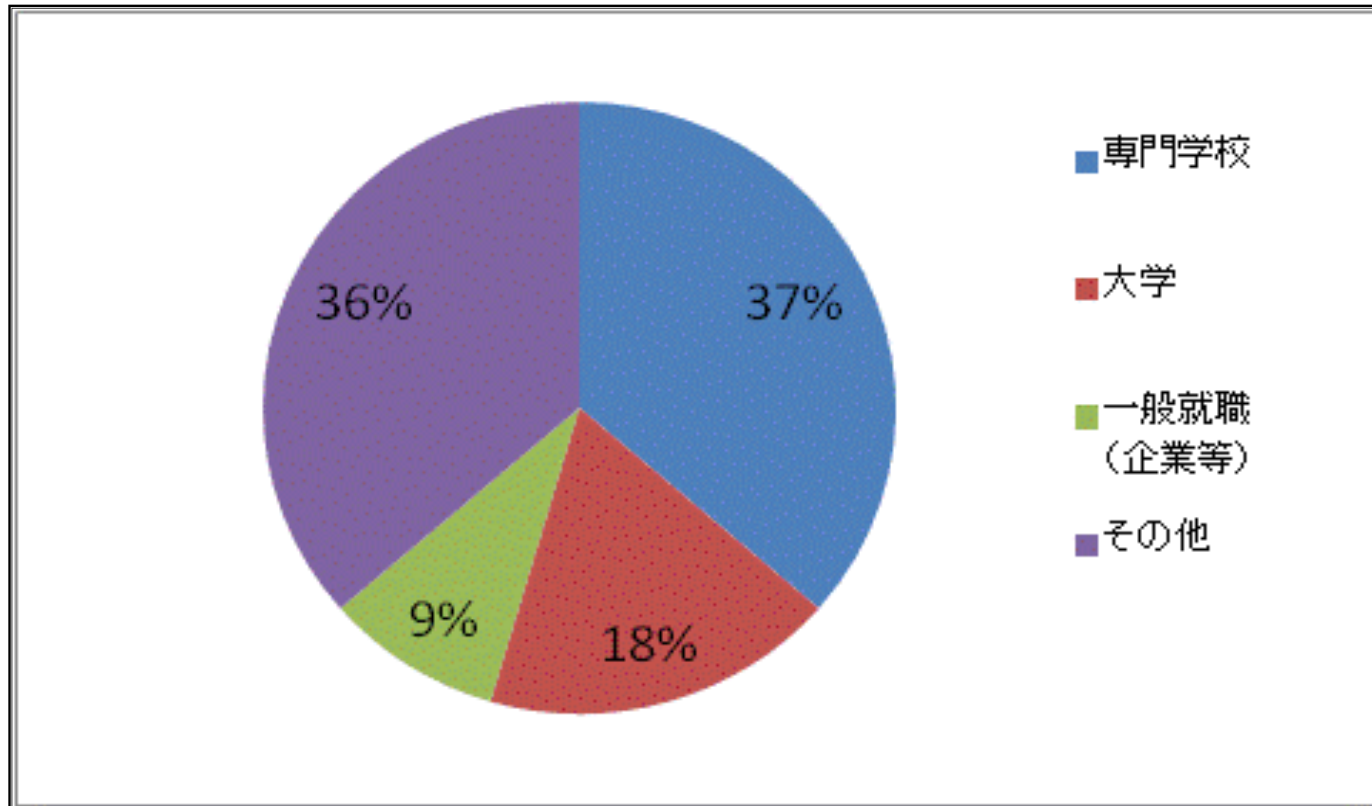
- ・なんとなく。
- ・常時、先生と自分の2人での授業はしんどい時がある。

【あまり満足していない】

- ・進度別に教育課程が2つあるのに、なぜ自分がI型にいるのか分からない。
(※現在は、担任や保護者と話をして理解している)

◆あなたは、将来の進路(就職や大学等への進学など)についてどのような希望がありますか。

	専門学校	大学	一般就職 (企業等)	その他
生徒	4	2	1	4



迷っている

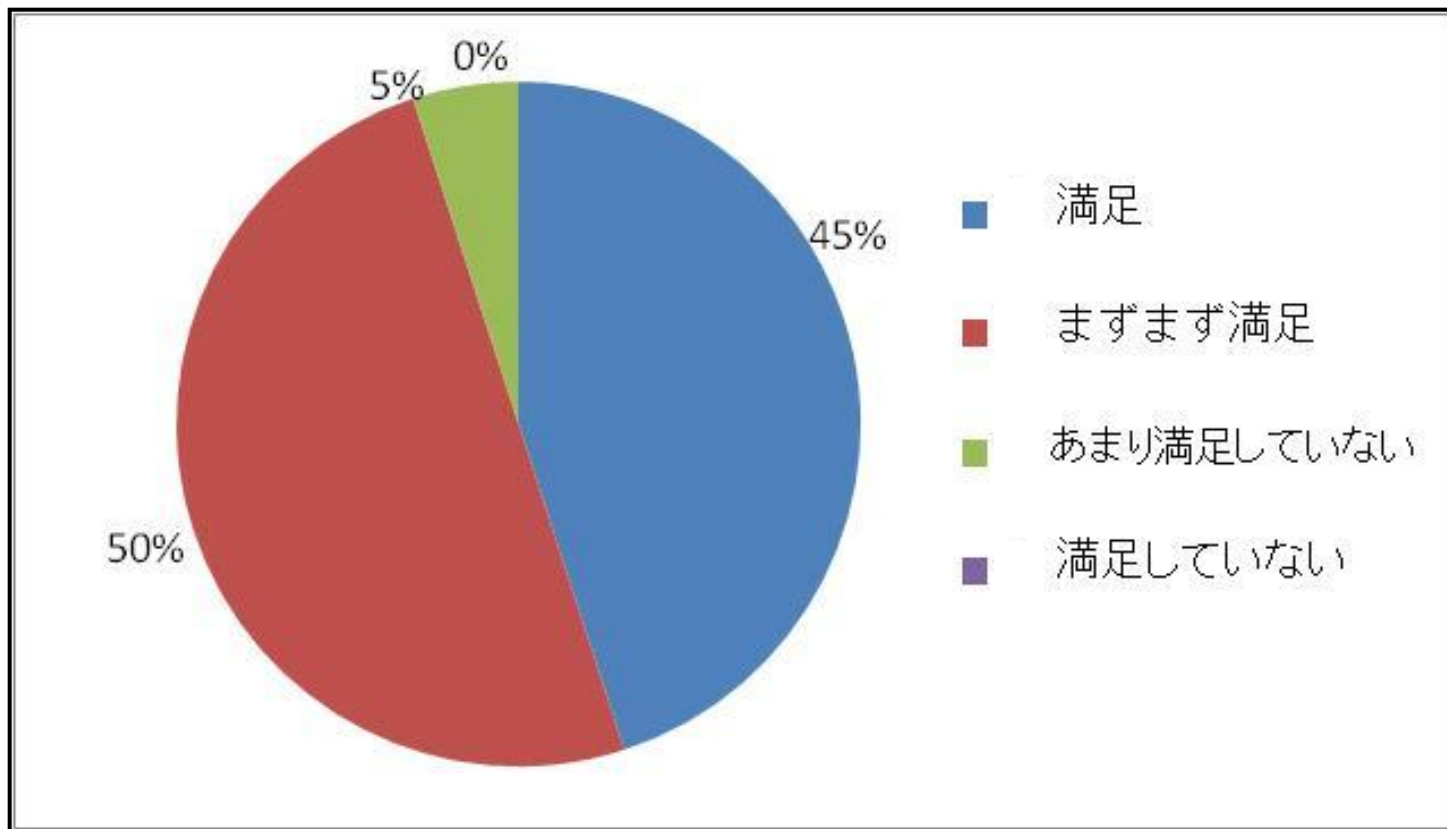
◆あなたの希望する進路を考えたとき、どんな授業やコースがあればいいと考えますか。

- ・いろいろな人や友だちと関わったりする授業。
- ・ロングホームの時に、どんな大学があるのか調べたい。
- ・イラストかデザインコース。
- ・今のままでよい。

保護者のアンケート調査より

◆あなたは、現在の学校の教育に満足していますか。

	満足	まずまず満足	あまり満足していない	満足していない
保護者	9	10	1	0



理由

【満足】

- ・ 細やかに対処していただき感謝している。
- ・ 先生方が健康面に配慮してくれ、充実した学校生活のようです。本人も学校に行くのがとても楽しいようです。
- ・ 少人数のクラスなので、落ち着いて学校生活を送れています。
- ・ 先生方や本人、まわりの人たちの理解もあり、少しずつのびのびと学校生活を送れているから。
- ・ 授業内容を分かりやすく教えてくれている。
- ・ 勉強が遅れている子どもの進度に合わせて無理なく進めてくれている。

【まずまず満足】

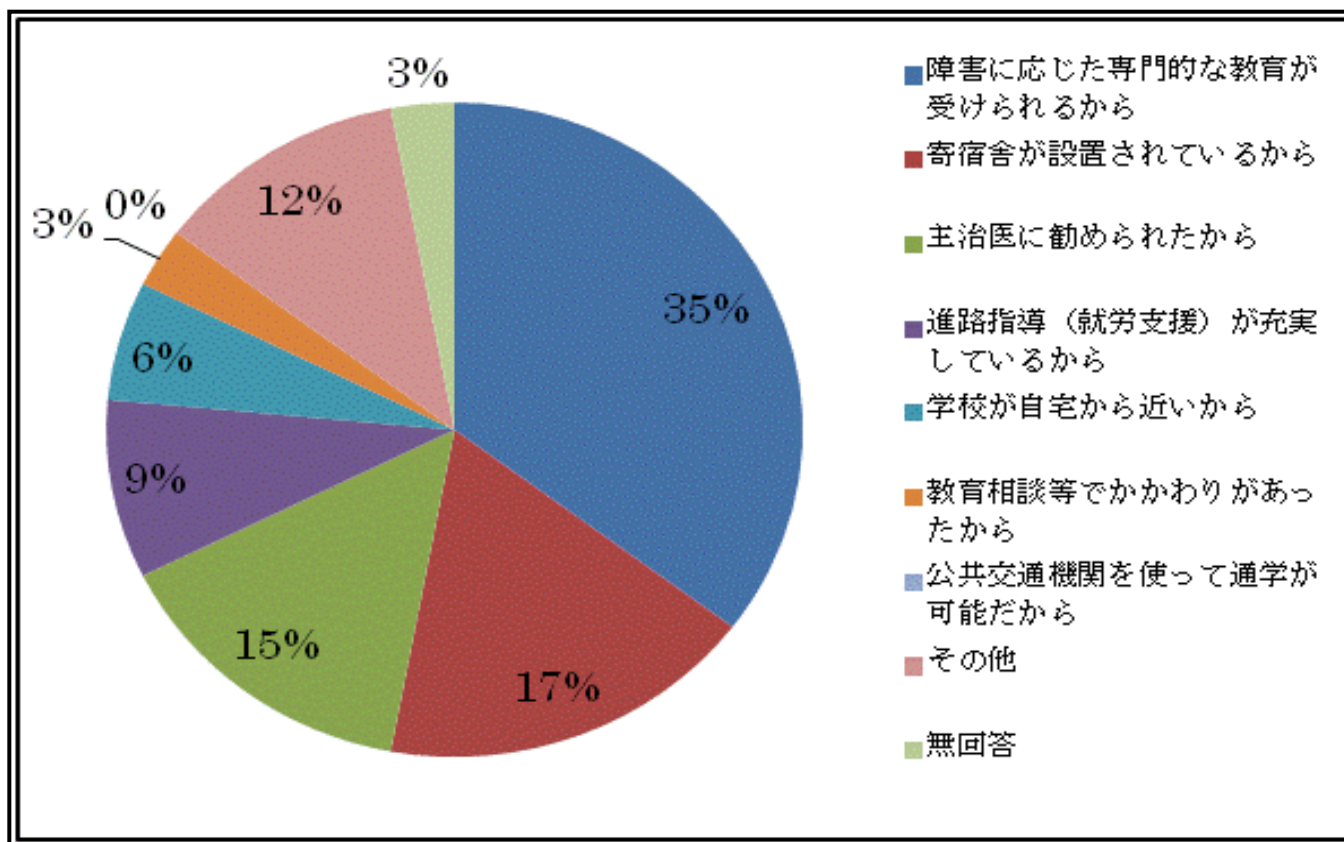
- ・ 子どもの病状に合わせた対応を働きかけをしてもらえる。
- ・ 学校に登校できていないけど、訪問等をしていただいている。（不登校）
- ・ 笑顔ややる気が増えてきています。
- ・ 先生方がとても気をかけてくれている。

【あまり満足していない】

- ・ 特別支援学校としての教育としては十分なのかもしれないが、子どもたちが社会へ出たときのギャップが強くありすぎるため。

◆あなたが、お子さんの高知江の口養護学校への就学・転学を決めた
主な理由は何ですか。

	障害に応じた専門的な教育が受けられるから	寄宿舍が設置されているから	主治医に勧められたから	進路指導（就労支援）が充実しているから	学校が自宅から近いから	教育相談等がかかわりがあったから	公共交通機関を使って通学が可能だから	その他	無回答
保護者	12	6	5	3	2	1	0	4	1

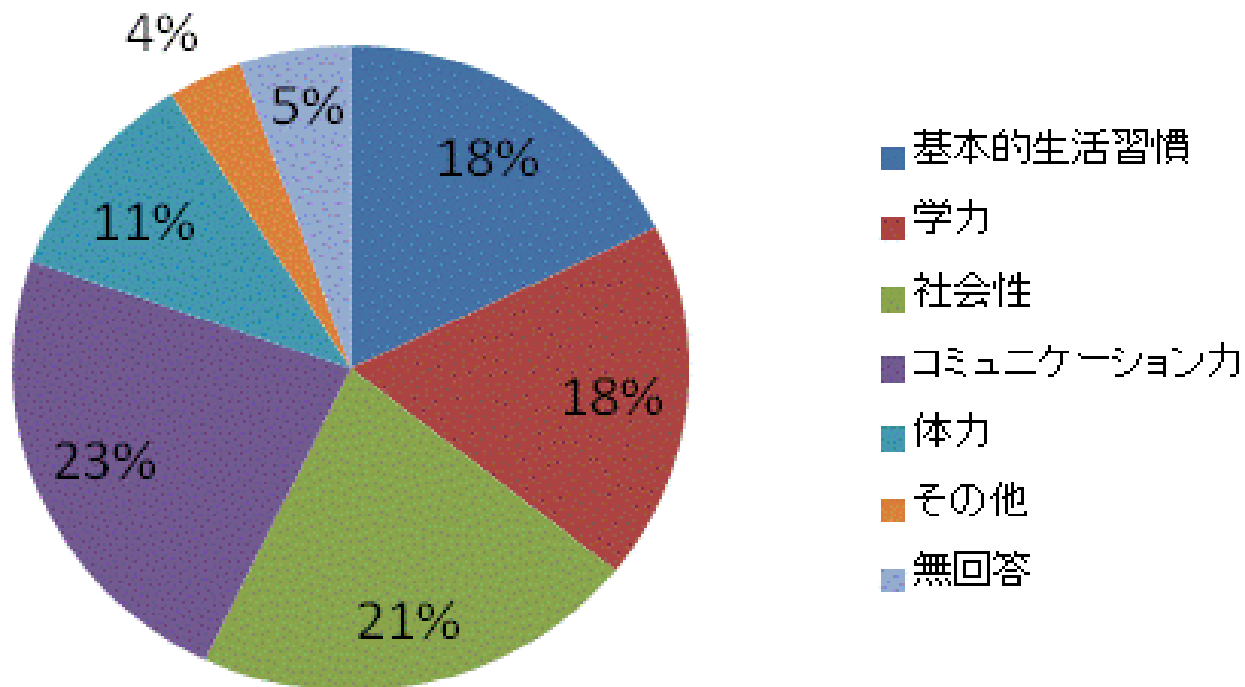


【その他の内容】

- ・ もとの学校は、病状に応じた手立てが少なかった。
- ・ 高知江の口養護学校に転校の相談に来たときの先生の対応がとても親切だったから。
- ・ 中学部の時、本人にとっていごごちのよい学校だったから。
- ・ 子どもの体調に合わせて、ベットで授業を受けられるなど、病状に合わせた対応ができる学校だと分かり、本人も希望したから。

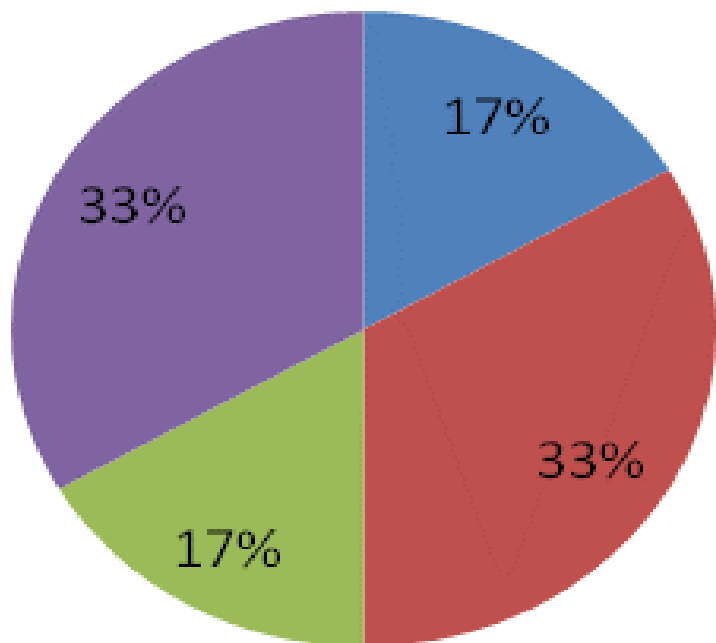
◆あなたが、お子さんに高知江の口養護学校で身につけてほしいことは何ですか。

	基本的な生活習慣	学力	社会性	コミュニケーション力	体力	その他	無回答
保護者	10	10	12	13	6	2	3



◆お子さんの今後の進路について、どのようにお考えですか。(小中学部)

	居住地の学校へ転校し、中学校高等学校へ	高知江の口養護学校を卒業後、居住地の中学校・高等学校へ。	高知江の口養護学校を卒業し、高知江の口養護学校中・高等部へ。	その他
保護者	2	4	2	4

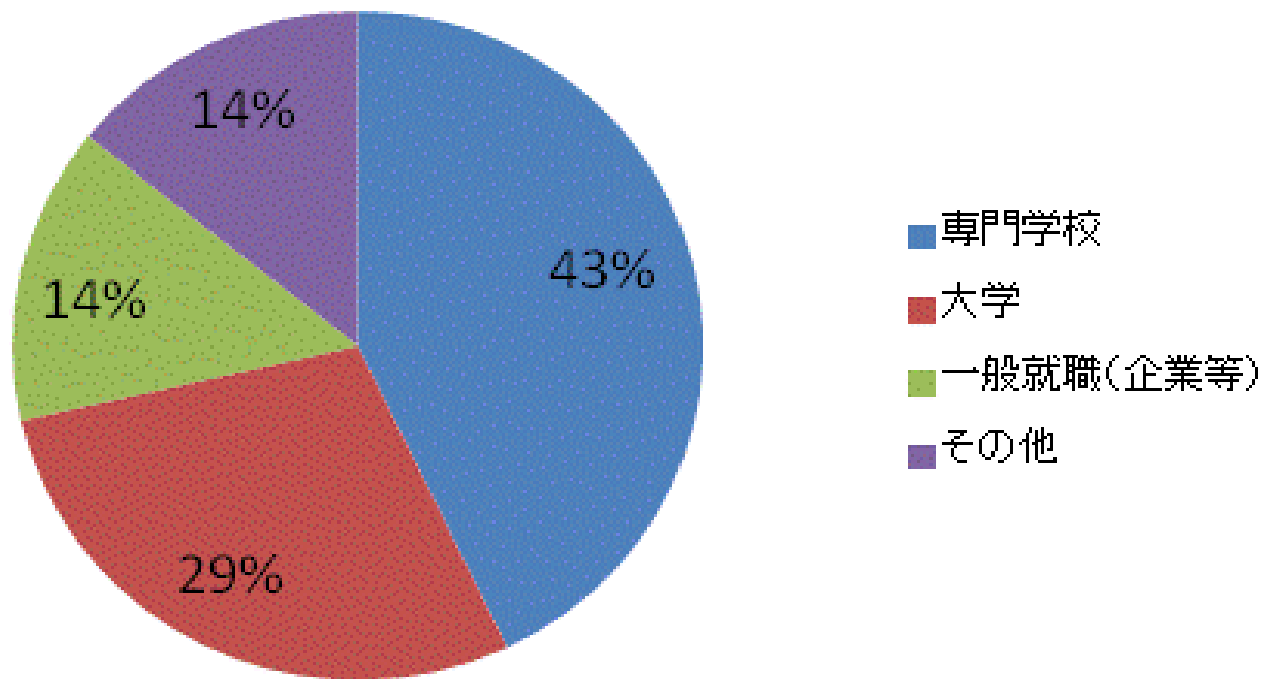


- 居住地の学校へ転校し、中学校高等学校へ
- 高知江の口養護学校を卒業後、居住地の中学校・高等学校へ。
- 高知江の口養護学校を卒業し、高知江の口養護学校中・高等部へ。
- その他

迷っている

◆お子さんの今後の進路について、どのようにお考えですか。(小中学部)

	専門学校	大学	一般就職（企業等）	その他
保護者	3	2	1	1



本人の希望を尊重

進路先の内容

【大学】 文系

【専門学校】 動物の専門学校 デザイン系の専門学校

【一般就職(企業等)】 事務職

【その他】 本人の希望に添って考えます。

◆今後、お子さんの通われている学校の教育内容を、さらに充実させていくためにどのようなことが必要だと思いますか。

【学習への対応等に関すること】

- ・勉強の必要性和楽しさを本人が持てること。
- ・病欠が多いので、本人の学力やペースに合った学習プログラムを立ててほしいです。
- ・休んでいた授業を、家庭で自己学習できる工夫があったら良いと思う。
- ・受験対策。
- ・今、通えることが全てではなく、将来、子どもたちが社会へ出て、一人立ちしていくうえでのことも見据えた指導をお願いしたい。

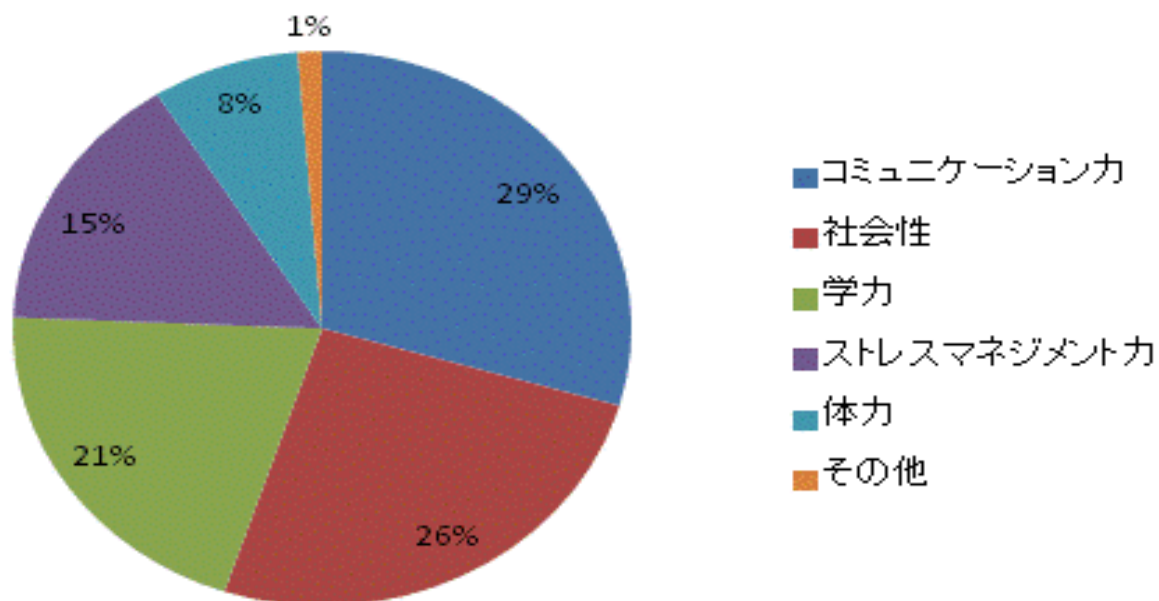
【その他】

- ・学校側、保護者側での子どもの状態（精神面など）を伝達していく。
- ・進学後、大人数の中で対応していけるように、地域の中学校のような行事やクラブ活動があればよいのではないのでしょうか。
- ・先生方は、皆さん熱心に子どもたちのことを考えて対応してくださってますし、普通校から異動されてきた先生方も、研修等を積み重ね、子どもたちの理解を深めようとしてくださっています。学校には感謝しています。
- ・今後、移転がある場合は、ぜひ運動場を作ってあげてください。

教職員のアンケート調査より

◆あなたは、自校の児童生徒の進路を考えるとき、どのような力が特に重要とお考えですか。

	コミュニケーション力	社会性	学力	ストレスマネジメント力	体力	その他
教職員	23	20	16	12	6	1



自己肯定感を高める

理由

【コミュニケーション力】

- ・思いを抱え込み伝えられないことがあるので、人との関わり方を学ぶ必要がある。
- ・社会に出ることを考えると、学生時代に友だちとの接し方や自分の気持ちの伝え方を学習することが大切。
- ・友だちとのコミュニケーションが課題となり、社会参加が難しいケースがあるから。
- ・ストレスを抱え、登校困難な生徒やコミュニケーションに問題を抱える児童生徒がいるため。
- ・生活経験を積み重ねながら、コミュニケーション力を育てる必要性を感じるため。

【社会性】

- ・人との関わりでつまずき、自信を失っている児童生徒が多いと感じるから。
- ・社会に出るまでに社会性を付けることで、周りから自分がどんな風に思われているのかといったことを、意識することが大切。
- ・生活経験を積み重ねることの必要性を感じられる、社会性を十分につけることが大切。
- ・人間関係づくりでつまずいてしまうと、集団参加への意識が低下してしまう。

【学力】

- ・学習のつまずきで、友だちとのコミュニケーションが不十分になり、人間関係づくりに支障がでることがあるため。
- ・基礎学力を付けておくことで高校の授業へのステップアップにつながる。
- ・病気や不登校のため、学習空白等があり、学力が十分についていない生徒がいるため。
- ・学力差でつまずくと、病状回復後、元の学校へ戻りづらくなるため。

【ストレスマネジメント力】

- ・不安なこと、分からないことに対して、耐性が弱くストレスをため込みやすいため。
- ・対人関係でストレスを感じていることがあるため。
- ・社会性やコミュニケーション力は日常の生活で身につけていけるが、体力やストレスマネジメント力の習得には、個々に対する支援やその啓発を促す必要がある。

【体力】

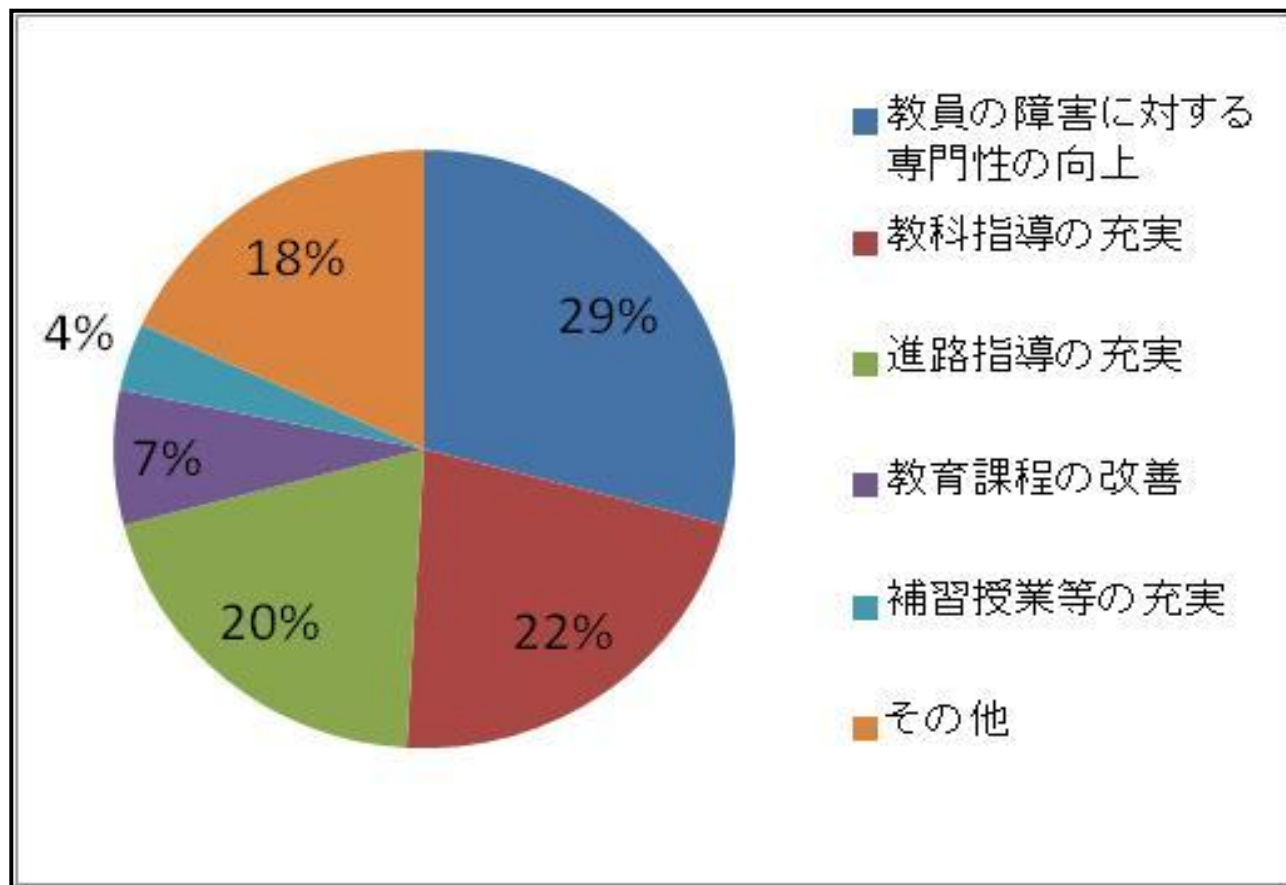
- ・体力は、行事やスポーツ大会への参加、部活動への参加への自信につながる。

【その他】

- ・自己肯定感を高めることが重要。

◆あなたは、児童生徒の進路状況を踏まえたうえで、自校のキャリア教育を充実させるためには、どのようなことが必要とお考えですか。

	教員の障害に対する専門性の向上	教科指導の充実	進路指導の充実	教育課程の改善	補習授業等の充実	その他
合計	16	12	11	4	2	10



◆理由や内容について、具体的にお書きください。

【教員の専門性の向上】

- ・慢性疾患や心身症について、まず教職員が深く知っていないと具体的な支援には結び付かないから。
- ・慢性疾患が主だった10年前と比べると、児童の実態が変化してきている。その障害の特性に応じた配慮等についての研修が必要。
- ・実態把握のために、どのような点を見たらよいか、それが発達障害の特性に起因するのか、本人の気持ちの持ちようの問題が大きいのか見極める研修があればうれしい。
- ・個に応じたキャリア教育を進めるためには、障害に対する専門性の向上が必要である。
- ・発達障害の理解と特性を踏まえたうえでの授業づくりが必要。

【教科指導の充実】

- ・学習空白を埋める短時間で多くのことを焦点化して学ばせる方法が必要。
- ・進路保障をしていくためには、教科指導の専門性を向上させ、学力を付けることが必要。
- ・キャリア教育は、個人の発達段階・状況等も踏まえたうえで、学校教育(教科指導)の中でも合わせて行っていく必要がある。

【進路指導の充実】

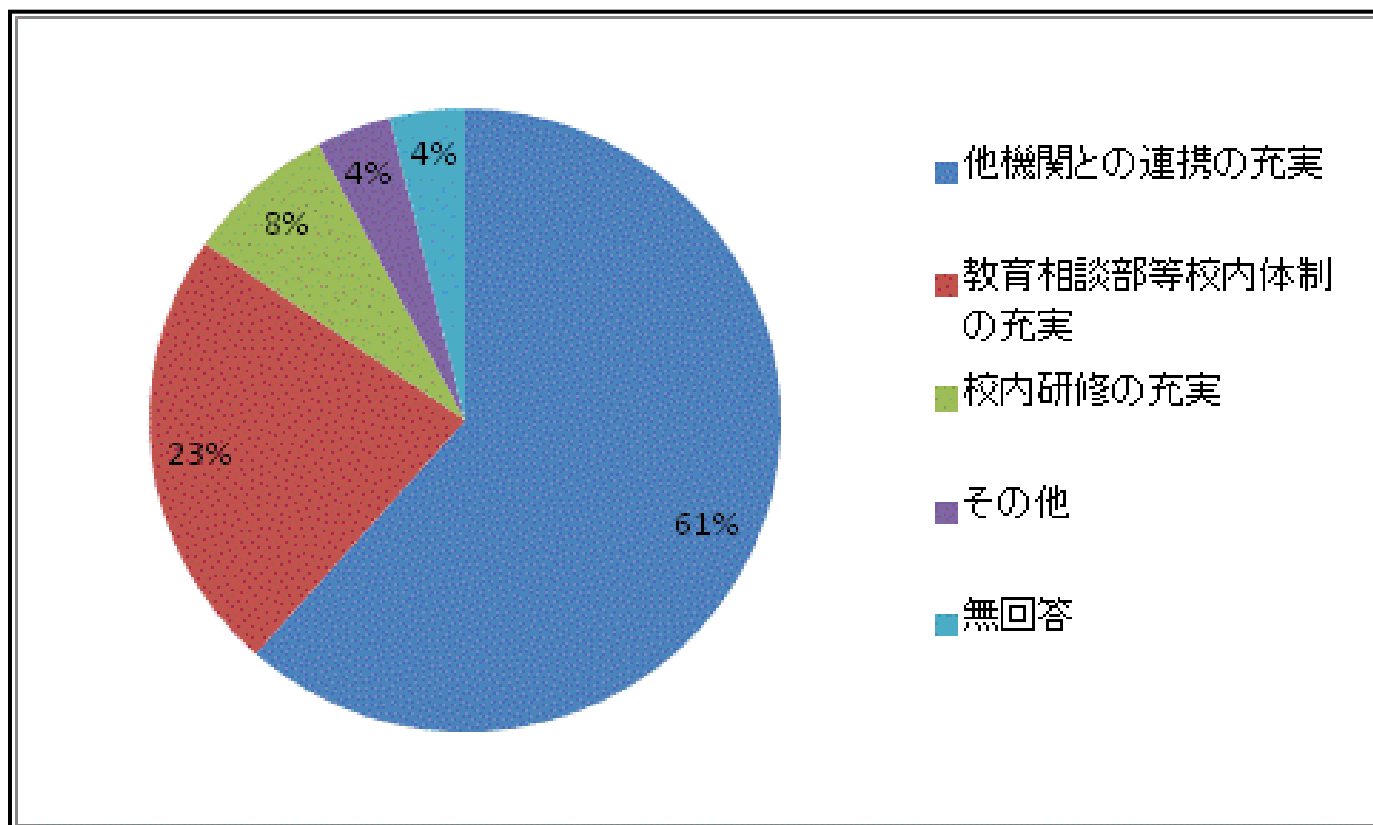
- ・個に応じた居住地校交流に取り組み、地域とのつながりを大切にしていくことで、進路に対する意識を向上させたい。

【その他】

- ・保護者、医療、関係諸機関との連携の充実。
- ・自立活動の内容の充実
(社会性、ソーシャルスキルトレーニング、コミュニケーション力、病気に関する知識)
- ・体験型の活動の充実
- ・教育相談の充実
- ・チーム支援の充実
- ・児童会生徒会の充実

◆あなたの学校のセンター的機能を、より充実させるために必要なことは何ですか。

	他機関との連携の充実	教育相談部等校内体制の充実	校内研修の充実	その他	無回答
教職員	16	6	2	1	1



◆その他、学校の教育内容を、さらに充実させていくためにどのようなことが必要だと思いますか。

【研修(障害、教科等)等による教員の資質向上】

- ・登校させるには、まずは魅力ある「来たくてたまらない学校にする」にはどうすればよいか考え、学ぶことの意義に魅力を感じられるような自分自身の教育技術を向上させることが必要。
- ・今のままで良いと思わずに常に考えていける意識など、教職員の資質・指導力の向上。

【教員間の意思疎通・連携】

- ・複雑な問題が多いことから、互いに相談し合える教員集団になることが大切。
- ・学部を超えた連携・共通認識が重要

【教育環境】

- ・視覚支援の必要な生徒に対する、順序立てた分かりやすいチャートやICTの活用が必要。
- ・メンタルケアのできる教員が多く必要。
- ・生徒の障害や実態によって、教室を分けるとか、仕切るとか、防音するとか、落ち着いて過ごせる学習できる環境が必要。
- ・児童生徒の多様化に対応し、教育課程を充実させるには、教員増も必要。

【家庭・他機関との連携】

- ・家庭へのサポートができる組織体制づくり(スクールカウンセラーの活用、地域対応なども)
- ・不登校あるいは不登校傾向にある子どもの対応(他機関との連携、スクールソーシャルワーカー等家庭支援も可能な人の配置)
- ・健康的な生活習慣の定着を図るために家庭と連携する。(生活リズムの向上)

【教員のゆとり(時間的、精神的)】

- ・教員が児童生徒としっかり向き合えるように、時間的にも心理的にも体力的にもゆとりを持てるような環境づくり。
- ・興味のある分野の専門性を高められるように、教員の心のゆとりが持てるようにする。

高知江の口養護学校教職員との意見交換

平成26年7月25日(金)11:00～12:30

参加者:管理職3名、教職員28名

◆高知江の口養護学校の教育内容の充実について

テーマ

- 児童生徒の障害の実態を踏まえた教育課程等、教育内容に係る課題について。
- 教育内容の充実に向けて、学校として、今どんなことに取り組んでいるか。さらに充実させていくために学校としてどんなことに取り組む必要があるか。
- 教育内容を充実させていくことによって、児童生徒にどのような教育的効果が期待できるか。

意見

- ◆心の安定等を考え、スクールカウンセラー（常駐）やスクールソーシャルワーカーの配置が必要。
- ◆前籍校にスムーズに帰ることができるよう、居住地校交流の充実を図る。
- ◆学習空白の子どもや心身症の子どもなどに対して、柔軟な教育課程の検討が必要。（高等部の単位制など）
- ◆教職員は、ICTの機器を活用できるスキルが必要。

◆高知江の口養護学校の施設・設備について

テーマ

- 現在、在籍している児童生徒の実態に応じた施設や設備環境に係る課題はないか。具体的に整備や設置が必要だと考える施設・設備について。
- 施設・設備の環境の整備に向けて、学校として何ができるか。現在、どんなことに工夫しているか。
- 以上のような施設・設備の環境を整えることによって、児童生徒にどのような教育的効果が期待できるか。

意見

- ◆心身症と慢性疾患の子どもがおり、教育ニーズの違いや冬場における感染症の問題等により、教室を分けるなど柔軟な対応が必要。
- ◆運動面の学習保障、基礎体力向上のため、グラウンド、プールが必要。
- ◆クールダウンする教室・場所が必要。
- ◆発達障害の子どもにも対応できるように、電子黒板や拡大機器等、ICTの充実が必要。
- ◆クラブ活動ができるようなスペースが必要。

意見

【寄宿舎】

- ◆寄宿舎では、プライバシーを考えると、一部屋3人程度が適切で、今後の要望等を考えると、定員を増やせるような施設が必要。
- ◆現在、寄宿舎への入舎は、遠方の子どもが優先されているが、心身症の子どもで、生活リズムを整えたり、身辺自立等を目的とし、入舎することが好ましい子どももいる。そういった児童生徒を想定した施設が必要。
- ◆余暇活動等、活動スペースが必要。

◆その他

テーマ

- 今後、高知江の口養護学校を充実させていくために、学校としてどんな特色を備えることが必要だと思うか。

意見

- ◆ 交通の便等を考えるとこの場所是最適と考えるが、日赤病院が移転した場合、日赤にも慢性疾患の子どもが学習できるような対応が必要。
- ◆ 心身症の児童生徒への対応は特別な手立てが必要なので、高知江の口養護学校でエキスパートを育てる必要がある。
- ◆ 関係機関（医療等）との係わりの充実。

課題

○児童生徒の多様化

慢性疾患

+

心身症
精神疾患

発達障害
不登校 など

○教育ニーズの多様化

基礎学力
病気の知識
心理的な安定

+

社会性
運動面

- ・コミュニケーション
- ・対人関係
- ・集団参加
- ・自尊感情
- ・ストレスマネジメント
- ・基礎体力

○進路の多様化

進学

+

専門学校、福祉的就労、一般就労

「教育内容」についての現状(アンケート等結果分析)

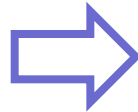
生徒・保護者

○おおむね満足している

- ・少人数、小集団指導
- ・チームティーチング
- ・状態に応じた学習指導

○専門的な教育を期待

- ・社会性、コミュニケーション
- ・基本的生活習慣



・特別支援学校としての教育は十分だが、社会へ出たときのギャップが強くあるのではないか

・社会に出て自立していくことを見据えた指導をお願いしたい

教職員

○専門性の向上

- ・教育技術(教科・自立活動)の向上
- ・慢性疾患、発達障害、心身症等の専門研修
- ・関係機関との連携

○教育内容の工夫、柔軟な教育課程

- ・前籍校との連携した教育の充実
- ・学習空白や多様な進路に応じる教育課程



・社会性が十分育っていないのではないか。

・特性に応じた指導が十分できているのか

・前籍校との情報の共有や交流が十分にできているのか。

・ニーズや実態から構築した教育課程となっているか

本日の協議のポイント

多様なニーズに的確に対応するため、どのような教育内容及び教育課程を有する学校とするか

◆社会性(コミュニケーション、対人関係、集団参加など)を、いかに効果的に育成していくのか。

◆多様な生徒、多様な進路に対応する高等部の教育内容及び教育課程にどんな特色をもたせるのか。

ありがとうございました。